

稲作だより

第10号 出穂予想・病害虫編

令和8年7月21日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動最上地域本部 最上総合支庁農業技術普及課 ☎0233-29-1330

暑さも本格化し、まもなく出穂を迎えます。間断かん水と花水を徹底しましょう。

※お天気ニュース※

7/18～8/14 までの向こう1 か月は平均気温が**高い見込み**です。特に期間の前半は気温が**かなり高くなる**見込みです。また、降水量と日照時間は平年並みの見込みです。人も稲も万全の暑さ対策で乗り越えましょう。(7/16 気象庁発表)

◎生育調査結果（7月17日時点）

品 種	年 次	草 丈 (cm)	茎 数 (本/m ²)	葉 数 (枚)	葉 色 (SPAD値)
はえぬき (新庄市泉田)	本 年	60.8	626	11.5	46.6
	前 年	65.9	579	11.6	44.4
	平 年	64.0	584	11.2	43.5
	平年比・差	95	107	0.3	3.1
つや姫 (舟形町富田)	本 年	68.4	525	11.2	38.4
	前 年	75.2	468	11.7	36.2
	平 年	69.4	569	11.2	38.3
	平年比・差	99	92	0.0	0.1
雪若丸 (新庄市泉田)	本 年	56.5	624	11.8	43.0
	前 年	65.2	602	11.3	44.0
	平 年	59.2	653	11.1	43.2
	平年比・差	95	96	0.7	-0.2
あきたこまち (最上町向町)	本 年	74.1	501	12.0	42.7
	前 年	80.3	519	12.2	41.9
	平 年	70.0	562	11.5	43.9
	平年比・差	106	89	0.5	-1.2

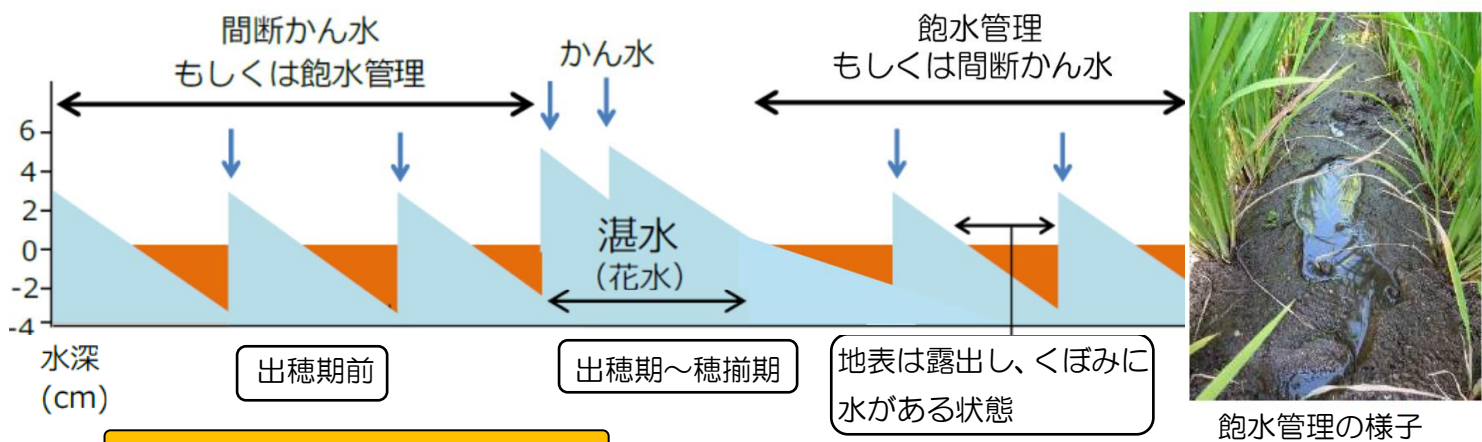
◎生育概況と出穂予想 ～高温傾向で出穂は早くなります！～

・草丈は平年よりやや短くからやや長く、茎数は平年並みから少なく、葉数は平年並みからやや多く、葉色は「はえぬき」で濃く、「つや姫」、「雪若丸」で平年並み、「あきたこまち」でやや淡いです。幼穂調査の結果では**2日程度出穂が早まる予想**です。特に移植が早く葉色が淡い圃場ほど**早まる傾向**にあります。早めの花水で出穂に備えましょう。

品 種	年 次	移植日	出穂予想	品 種	年 次	移植日	出穂予想
はえぬき (新庄市泉田)	本 年	5/27	8/4	雪若丸 (新庄市泉田)	本 年	5/24	8/6
	平 年	5/25	8/6		平 年	5/25	8/8
	平年差	2	-2		平年差	-1	-2
つや姫 (舟形町富田)	本 年	5/15	8/7	あきたこまち (最上町向町)	本 年	5/20	7/30
	平 年	5/17	8/10		平 年	5/23	8/1
	平年差	-2	-3		平年差	-3	-2

◎水管理 ～これからの水管理で登熟が決まる～

- 出穂直前までは間断かん水もしくは飽水管理を継続し、土壌を酸化的に保ち、根の活力を維持しましょう。走り穂が見えたら**湛水状態（水深2～5cm）**とし、穂揃期まで水を切らさないようにしましょう。穂揃期以降は間断かん水を基本としましょう。



やってはいけないNG管理

- 長期間の湛水管理（出穂期～穂揃期を除く）→**×**水温が上がり根を痛める
- かん水を怠り圃場が白乾亀裂するまで乾燥 →**×**籾数の減少、品質低下に繋がる
- 刈取時期まで圃場が乾かないので早期に落水→**×**胴割粒の増加の要因となる

◎葉いもち対策 ～発見したら早期に対策！～

- 7月13日～16日に感染好適条件に遭遇しています。薬剤の基本防除は①穂ばらみ後期、②穂揃期の2回です。例年発生が懸念される場合は、圃場を見回り、病斑を発見したら即座に治療効果の高い薬剤を散布しましょう。

◎斑点米カメムシ類対策 ～今週から草刈り休止期間です～

- 米づくり運動最上地域本部では下記日程を斑点米カメムシ類対策期間としています。地域ぐるみの対策で地域全体の密度低減を図りましょう。

	7月		8月		
	11日～20日	21日～31日	1日～10日	11日～20日	21日～30日
草刈	強化期間	休止期間			
防除	やむを得ず草刈りを行う場合は水田の薬剤防除直前に実施しましょう		基本防除① 穂揃期	基本防除② 穂揃期の7～10日後	補完防除 基本防除②の7～10日後